

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 21

平成29年9月28日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	出雲ぶどう部会のH29年産デラウェアが出荷終了 目標単価1,300円は達成！目標反収1,300kgは今後に！
-----	---

(ダイジェスト)

J Aしまね出雲ぶどう部会の、本年産デラウェアは4月19日から出荷が始まり、8月9日に終了しました。今年は2月から日照量が多く、梅雨に入っても降雨が少なかったことから、例年に比べ裂果が非常に少なくなりました。また、生産者に適期管理の徹底を呼び掛け、適切に栽培管理された結果、秀品率が向上し、部会の今年産目標である単価1,300円/kgを達成しました。

J Aしまね出雲ぶどう部会では、H29年産デラウェアの目標として、「一致団結 単価1,300円/kg」「やればできるぞ反収1,300kg」を掲げ、組織一丸で生産に取り組んでこられました。

今年産も昨年産同様に低温遭遇時間が短く、発芽の不揃いが多く見受けられましたが、2月から日照量が多く、気温も上昇したこと、その後の肥培管理と防除が徹底されたことにより、その後の生育が改善されました。また、梅雨時期に入っても、降雨が少なく推移したことから、例年に比べて裂果が非常に少なくなり、その結果、赤秀品率が向上し、目標の単価1,300円を達成しました。

しかし、反収は昨年産より64kg増加したものの、目標の1,300kgに届きませんでした。反収目標の達成には単価のそれと同様に、土壌改良、夏枝管理や病虫害防除など肥培管理の徹底が基本となりますが、当産地では老木化が進んでいることから、玉太りの良い優良系統デラウェアへの改植を積極的に進めており、一昨年は7haの改植が行われ、今年度も新たに3haの改植が予定されています。今後も、計画的に改植を進め、成園化させることで反収1,300kgの目標達成に向け取り組んでいきます。

当普及部としては、今後も単価1,300円が維持され、かつ早期に反収1,300kgが達成できるよう、活動を行うことにしており、8月上旬からは技術普及部と協力し、各地区で来年产に向けた収穫後管理の座談会を開催し、併せて土壌改良や来年产施肥の参考とするため土壌分析を行い、圃場の状態に合わせた指導も行いました。また、同部会、関係機関と連携を図りながら、老木化した園に対して優良系統への積極的な改植を勧めています。

H29年度 デラウェア生産販売実績

項 目	H29年度	前年比
栽培面積 (ha)	92.9	91.3%
出荷量 (t)	952.1	94.7%
反収 (kg/10a)	1,034.9	106.8%
単価 (円/kg)	1,339.1	107.4%
販売高 (百万円)	1,274.9	101.7%



出雲産デラウェア